

水上オートバイ(PWC)を使ったレスキュー方法の普及団体の 一般社団法人 ウォーターリスクマネジメント協会メンバーが 突堤から転落した男性を救出し感謝状を贈られました。

愛知県田原市の漁港で誤って転落した男性を救助したとして、救助をおこなった一般社団法人 ウォーターリスクマネジメント協会の今西淳樹理事長と長沢規史副理事長が9月27日に鳥羽海上保安部から感謝状を贈られました。

9月27日の午前4時20分頃、防波堤を歩行中の男性が転落。
この朝アジア競技大会サーフィン競技のウォーターパトロール(安全管理)の任務をおこなうため午前5時から準備を進めていた今西さんと長沢さんは、消防の要請を受け、水上オートバイで出動。捜索を開始から約3分で要救助者を発見し・救助し、約5分後に漁協スロープに搬送されました。

あと少し遅ければ低体温症を発症していた恐れもあり、水上オートバイの機動力とお二人の的確な救助スキルが人命を救いました。

(NPO)パーソナルウォータークラフト安全協会のシーバード会員は
(一社)ウォーターリスクマネジメント協会(WRMA)から水上オートバイによる救助方法指導などのご協力をいただいております。
今西理事長と長沢副理事長の活動に敬服いたします。

写真右:今西理事長 写真左:長沢副理事長

